

## 献 辞

塗木桂子教授は、2009（平成21）年3月31日をもって、名古屋外国語大学教授を定年退職されることになりました。

同教授は、1988（昭和63）年4月、名古屋外国語大学創立時から満21年間の長きにわたって、教育と研究のみならず教務委員として、フレッシュマンキャンプの企画、実行委員、多読指導、語彙増強指導グループの中心として、ご尽力されました。優しさの中にも厳しさのある指導によって、学生たちは大いに得るところがあったと感謝いたしております。また海外研修の引率にも積極的に協力していただきました。

また、社会活動もされ、1998（平成10）年4月より2003（平成15）年3月までWisdom 21（愛知県有職女性の会）会長として、「幼児教育を考える」という若い母親を対象とした講演会や市民のためのミニ・コンサートなどを企画し、精力的に活躍されました。

また、日進市立図書館講座の講師として「ピーターパン」—劇文学からの視点—（2006年 全5回）、「シェイクスピア劇の女性たち」（2007年 全5回）、「海外の絵本に触れる」（2008年 全3回）など、研究の成果をわかりやすく一般の人へ伝えることにも努められました。

先生ご自身は、音楽、文学、芸術などにも幅広く関心を示され、また自然や花を愛され、少し関西なまりの感じられる話し方で、和やかな雰囲気が醸し出されていたように思われます。

同教授の長年の、多面にわたるご貢献に対して名誉教授の称号をお贈りすることになりました。それを記念し、本誌に同教授の御写真、年譜、著作目録を掲げ、その足跡を称えたいと思います。

同教授のご健康とご多幸を心より念じ上げております。

2009（平成21）年3月31日  
英米語学科長

平 井 秀 和